



あ や め



紫翠祭 成功裏に！

9月16日(金)・17日(土)に、生徒会年間最大行事である紫翠祭が行われました。

秋雨や台風の影響で開催が心配されるなか、1日目の文化の部は無事に実施、2日目は雨天が心配されたため日程変更をしましたが、無事体育の部を実施することができました。生徒たちは、67回目を数える「紫翠祭」を成功させるために、1学期から、生徒会本部を中心に、各実行委員会、各学級・各文化部がそれぞれの目標をもって取り組んできました。文化の部の『合唱』では、本校での取り組みが30年を越えた「全校ハレルヤ」を、この2年間はコロナ禍でも少しずつ、伝統の灯を絶やすことなく取り組みを続け、ついに今年度は体育館でのお披露目を実現できました。コロナ対策をしつつ、1学期からパート練習・系列練習に取り組み、全校一丸となって取り組んできました。当日の好演奏は止まった時計の針が動いた瞬間であり、感慨深いものがありました。また、クラス合唱でも各学級で熱心に取り組む様子が見られました。今年は優劣を競うコンクール形式ではなく、発表会形式にしてそれぞれの発表の良さを聴いてもらうようにしています。どの生徒も他クラスと競い合うことなしに、懸命に表現をしている姿が素敵でした。いずれのクラスも、本番ですばらしい発表をすることができたのではないのでしょうか。事前の合唱指導に来てくださった芦澤先生や音楽の保坂先生からも、成長の姿が見られると、お褒めの講評をいただきました。また、午前の部の部活動ステージ発表や展示発表、各委員会や実行委員会の展示、各学年展示や空き缶アート、全校で制作した体育館ステージバックも好評でした。

2日目の体育の部でも、各学年の競技で白熱した勝負が繰り広げられていたのではないのでしょうか。各クラスや系列の応援にも気合や気持ちがこもっており、まさに団結・協力という言葉そのもの。競技の形をとるからには優勝劣敗はつきものなのですが、生徒たちが全力で取り組み、クラスや学年の一員として一生懸命「走る姿」はとてもすがすがしく、観ている人たちに感動を与えてくれたのではないかと思います。

紫翠祭を終え、大きな一つの区切りができたと思います。ただし、ただよかったで終わることなく、責任を持つこと、協力することなど、この紫翠祭で得たものを、これからの学校生活で生かせるかどうか大切なのだと思います。そしてそれができてこそ「本当の

意味」で紫翠祭が成功したと言えるのではないのでしょうか。

3年生は進路選択・卒業に向けて、1・2年生は3年生からバトンを引き継ぎ、新人大会や生徒会役員選挙など学校の中心となって、活躍することを期待します。

保護者の皆様には、2日間にわたって紫翠祭を参観していただき、ありがとうございました。まだまだ制限付きの参観ではありましたが、全学年の生徒の日頃の活動の成果を見ていただくことができ、一歩進むことができたかなと思っています。また、そのことが生徒たちにとっても大きな励みになったことと思います。今後も本校の教育活動へのご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



1日目：文化の部など





(2日目) 体育の部・閉祭式



3年生は進路実現に向け本格始動！

いよいよ次週の教達検（教育課程到達度確認検査）を皮切りに、本格的に受検シーズンに突入します。既に、全県で行われる山梨県進路希望調査を、本校では紫翠祭取組中に行いました。

3年生は、今基礎学力の確認のために学習会などを企画中です。是非とも、希望の進路実現に向けてみんなで努力を重ねていてもらいたいです。

ところで、時折「勉強の仕方が分からない」とか「一生懸命やったのに結果が悪い」という声を聞くことがあります。では、あなたはどれだけの勉強方法を実際に試してみましたか（始めましたか）。続けなければ必ず力がつくと信じて、毎日勉強を続けていますか。<努力するものは希望を語り、努力を怠るものは不平を語る。>といいます。やるべきことをやらないで、不平や愚痴を言うのではなく、まずは始めること、続けること。あなたを変えることができるのはあなた自身のみです。みなさんの進路希望は、決して実現不可能なものではありません。自分の可能性を信じて頑張りましょう。

努力しても結果がついてこないような辛いときに思い出してほしい言葉、世界最高峰のサッカー選手の人であるリオネル・メッシが語った言葉を贈ります。

**努力すれば報われる？
そうじゃないだろ。
報われるまで努力するんだ。**

お知らせ) 中巨摩新人大会に向けて！激励会があります

9月29日（木）14：35から、中巨摩新人大会に向けての激励会があります。保護者の皆様にも参観して頂けるよう、グラウンドにて行う予定です。

3年生からバトンを引き継ぎ、2年生中心の部活動体制になって初めて迎える公式大会ということになります。早いところでは1学期後半から、遅くは夏休み以降のチーム立ち上げとなりましたが、朝練・午後練、土日の練習や練習試合と、新人大会を目標に頑張ってきました。激励会では、そんな各部の意気込みが感じられることでしょう。

秋の交通安全運動の取り組みより⇒
(学校通信「あやめ」11号参照)

